

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	静岡県沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画）
②都道府県名	静岡県
③計画作成主体	沼津市
④計画期間	平成 22 年度 ～ 27 年度
⑤計画の目標	本市は、海と山に囲まれており、東海地震による甚大な被害が想定されている。また、全国的な傾向と同様に、人口減少、少子高齢化が進行している。このため、公共住宅等の耐震化や狭あい道路の整備等を通じて災害に強いまちづくりを目指すとともに、民間住宅・公共建築物の耐震化促進やバリアフリー化された公共住宅の供給等を通じて、新たな時代の居住環境の確保を目指し、もって安全・安心で快適に暮らせるまちの実現を目標とする。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	沼津市において評価を実施
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「沼津市における耐震性が確保された民間住宅の割合の向上」 定義：住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 評価方法：H25 住宅・土地統計調査等の統計データや事業実績に基づく数値 結果：従前値：79.9%（23 年度）⇒目標値：90.0%（27 年度）⇒実績値：86.6% 結果の分析：沼津市建築物等耐震化促進事業の補助額を増額したことに加え、耐震化の啓発活動（未耐震住宅へのダイレクトメールや戸別訪問、広報誌の掲載、イベントでの耐震化PR等）を実施し普及に努めたが、耐震補強工事の補助実績が想定を下回った。また、未耐震住宅の建替えや除却が当初の予定を下回ったことから目標値を達成できなかった。</p> <p>指標②：「耐震化された沼津市営住宅の棟数の割合の向上」 定義：事業実施状況をもとに算出する 評価方法：耐震化された沼津市営住宅の棟数に基づく数値 結果：従前値：72.0%（23 年度）⇒目標値：100%（27 年度）⇒実績値：99.1% 結果の分析：多少の遅れはあったが、既存ストックの集会所 1 棟を残すのみとなり、ほぼ目標を達成することができた。</p>
⑧結果の公表方法	ホームページ
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	<p>今回の事業評価の結果を踏まえ、次期社会資本総合整備計画において、設定した目標を達成できるよう事業を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 次期社会資本総合整備計画 沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画） 2) 計画期間 H28-H32 年度 3) 目標値 <ol style="list-style-type: none"> ① ユニバーサルデザイン化された市営住宅の割合 40.1% ② 民間住宅ユニバーサルデザイン化の補助件数 30 件 (H32 年度)
⑩その他	(特記すべき事項があれば記載)

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	静岡県沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画（防災・安全））
②都道府県名	静岡県
③計画作成主体	沼津市
④計画期間	平成 22 年度 ～ 27 年度
⑤計画の目標	本市は、海と山に囲まれており、東海地震による甚大な被害が想定されている。また、全国的な傾向と同様に、人口減少、少子高齢化が進行している。このため、公共住宅等の耐震化や狭あい道路の整備等を通じて災害に強いまちづくりを目指すとともに、民間住宅・公共建築物の耐震化促進やバリアフリー化された公共住宅の供給等を通じて、新たな時代の居住環境の確保を目指し、もって安全・安心で快適に暮らせるまちの実現を目標とする。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	沼津市において評価を実施
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「沼津市における耐震性が確保された民間住宅の割合の向上」 定 義：住宅・土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 評価方法：H25 住宅・土地統計調査等の統計データや事業実績に基づく数値 結 果：従前値：79.9%（23 年度）⇒目標値：90.0%（27 年度）⇒実績値：86.6% 結果の分析：沼津市建築物等耐震化促進事業の補助額を増額したことに加え、耐震化の啓発活動（未耐震住宅へのダイレクトメールや戸別訪問、広報誌の掲載、イベントでの耐震化PR等）を実施し普及に努めたが、耐震補強工事の補助実績が想定を下回った。また、未耐震住宅の建替えや除却が当初の予定を下回ったことから目標値を達成できなかった。</p> <p>指標②：「耐震化された沼津市営住宅の棟数の割合の向上」 定 義：事業実施状況をもとに算出する 評価方法：耐震化された沼津市営住宅の棟数に基づく数値 結 果：従前値：72.0%（23 年度）⇒目標値：100%（27 年度）⇒実績値：99.1% 結果の分析：多少の遅れはしたが、既存ストックの集会所 1 棟を残すのみとなり、ほぼ目標を達成することができた。</p> <p>指標③：「狭あい道路を拡幅整備した件数の向上」 定 義：事業実施状況をもとに狭あい道路を拡幅整備した件数を現況地に加算する 評価方法：事業実績に基づく数値 結 果：従前値：575 件（23 年度）⇒目標値：800 件（27 年度）⇒実績値：804 件 結果の分析：建築確認申請時や境界査定時に市民や建築関係者へ事業の周知を図ったことにより、目標値を上回ることとなった。</p>
⑧結果の公表方法	ホームページ
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	

<p>⑨ 今後の住宅施策の取組への反映</p>	<p>今回の事業評価の結果を踏まえ、次期社会資本総合整備計画において、設定した目標を達成できるよう事業を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 次期社会資本総合整備計画 沼津市における安全・安心で快適な住環境の確保（地域住宅計画（防災・安全）） 2) 計画期間 H28-H32 年度 3) 目標値 <ol style="list-style-type: none"> ① 耐震化が確保された市内の住宅の割合 95.0% ② 狭あい状態の解消された道路の目標値に対する割合 100% (H32 年度)
<p>⑩ その他</p>	<p>（特記すべき事項があれば記載）</p>

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。